



平井里美

差別を禁止し、被害者が救済される条例を

問 条例素案を策定する検討委員に、専門的な知見を有する学識者によるスーパバイズを行うべきだと思いが、市の見解は。

答 取り組み体制の詳細については、条例が制定された後、具体的に検討する。

要支援者名簿を活用し、地域の見守り体制を

問 平時の見守り体制を支える「地域の居場所づくり事業」を推進するために、創業支援等の拡充を検討すべきではないか。

答 都市計画マスタープラン改定等で広く市民の意見を伺う機会を設けたい。

答 多様な居場所が生まれるよう、市内の居場所の活動を参考に、初期投資的な支援について検討する。

都営狛江団地の建替えに音楽・芸術施設の誘致を

問 公民館・図書館の増築に加え、都営団地の建替えに際しても、幅広い市民が計画に参加するべきと考えるが市の認識は。

答 都市計画マスタープラン改定等で広く市民の意見を伺う機会を設けたい。



栗山たけし

災害時に期待される都立公園について

問 ①松原市長就任後の都立公園誘致の取り組みについて

②市長は今後、和泉多摩川緑地への都立公園誘致について、どのように考えているのか。

答 ①都知事との意見交換で協力依頼し、事業化に向けた課題整理に協力するとコメントをいただいた市長会の都への予算要望で強く要望した

②スポーツ公園からつながるネットワークとして都立公園を整備していただいた

い。粘り強く取り組んでいく。

安心して歩ける多摩川歩道について

問 ①多摩川天端舗装完成による市民の反響はどのようなものか

②市内多摩川天端舗装完成後に隣接行政とのイベント等計画は有るのか。

答 ①安心できる、歩きやすくなったとの声の他に未整備部分もやってほしいとの意見

②今のところないが、調査研究したい。



三角たけひさ

絵手紙

問 ①絵手紙の魅力②絵手紙実行委員会、特定郵便局と共に絵手紙の魅力発信に努め連携強化が必要では③絵手紙の教育的効果。

答 ①一言では言い表せない多くの魅力②イベント開催に合わせ連携強化し絵手紙を発信③心を育む教育活動、今日において重要。

市保有地の有効活用

問 ①山梨県北杜市白州町の土地所有の経緯②白州町の土地の広さ③土地の維持管理状況④白州町に滞

在型市民農園として活用。

答 ①昭和43年に市民より寄附を受けた②9975㎡③年2回草刈りや境界確認④整地し、農地として活用できる状況になれば可能。

住んで楽しい街：こまever2

問 岩戸地域に年齢や障害の有無に関わらず、誰でも相談でき気軽に集える街の福祉拠点、多世代が食事をし学習支援の場の開設。

答 地域包括ケアシステムの更なる発展と、地域共生社会を目指し、包括的な支援体制の構築を検討する際に参考とする。



太田久美子

テレワークの推進について

問 ①市が目指すべきテレワーク事業について②空き家の活用でテレワーク拠点の整備を③テレワーク就業中の預かり保育をすべきと思うが④サテライトオフィスの整備も行ってはどうか、市長の見解は。

答 ①市の強み、優位性を加味しながら考える必要がある②諸条件を加味した上で選択肢の一つとして考える③具体的な検討を進める中で考える④基本的にはテレワークと同じ文脈の中で検討を進める。

病児保育の充実について

問 ①本市の病児保育施設は2施設で全国平均並みになることから、あと1施設増やしてはどうか②病児保育施設の広域利用について市の考えは③訪問型病児保育の整備を進めるべきと思うが市の見解は。

答 ①現段階では、新規施設の整備は難しいと考えている②広域利用も含め、事業の改善やサービス向上に向けた情報収集には今後とも努めていく③近隣自治体の事例等も踏まえ、今後検討を進めてまいりたい。



辻村ともこ

医療用注射針の急増に對する適正処理と今後

問 ①超高齢化社会における慢性疾患や在宅医療増加への市の認識と課題は。②在宅医療注射針回収事業を担う狛江市薬剤師会への3年間の補助金額は。③私が26市の注射針回収事業を調査した所、委託、全額補助など様々な形態があった。市民の利用する在宅注射針は3年間で17万本も増加している。現状を鑑みて補助金の見直しをするべきではないか。

答 ①厚生労働省調査により、市も同様の状況と認識。在宅医療の必要性が増す点については課題。②過去3年間において、年25万円の補助をしている。③在宅自己注射の種類が増加していることもあり、使用済み注射針の本数が増加していると考え。狛江市薬剤師会の自己負担が増えている実態があるので、予算編成の中で検討していく。

他に、教科書採択について質問



谷田部一之

新しい時代に新しい狛江を

問 ①狛江市の平均寿命は全国でどの位か②狛江市シルバー人材センターの伸び率は③長寿の秘訣は元気がから働いているのか、働いているから元気なのか④さらなる平均寿命延伸の為、ラジオ体操の普及は⑤市民センターの今後について早急に市民アンケート調査の実施を要望するがいかが⑥須賀川市のように市民活動支援センターを市民センターに移動も考えているか⑦令和2年市制施行50周年の日取りは。

答 ①平成27年時点で男性81.7歳、女性87.8歳②平成29年度から30年度にかけて会員伸び率は11.52%③最初は元気だから働きだした方も、働いているから元気になっていくのだと実感④健康づくりの有効な取り組みの一つ。どのように普及をしていくかが課題⑤今年度の実施について検討する⑥一体化することにより、施設同士の相乗効果が生まれるメリットも考えられるので、こうした視点も視野に入れていきたい⑦記念式典を10月25日に実施する予定。



しのの浩司

消防団の活動について

問 ①地域防災力とは②消防団について狛江市の所見③地域における消防団とは④消防団の任務とは⑤大規模災害時の役割について⑥訓練の内容について⑦仕事をしながらいつ訓練しているのか⑧火災時の活動について⑨消防署との協力体制について⑩的確に水利を部署し、効果的消火活動できる要因は⑪装備品、服装を充実させるため見直しの必要はないか⑫消防団に期待することは。

答 ①地域における総合的な防災の体制とその能力②市民の生命・財産を守るため活動している③地域の防災リーダー④火災、水害など消防署と連携⑤実戦部隊として様々な役割を担う⑥基礎教育訓練、舟艇訓練、上級救命講習、消防訓練所での講習⑦土日や夜間⑧情報収集、水利部署し消防署と連携し活動⑨常に情報共有しながら活動⑩地元出身の団員の「地の利」がある⑪できる限り対応したい⑫災害に強い人づくり、まちづくりに貢献いただけるものと期待する。

用語解説

- ※1…住民一人ひとりのタイムラインであり、いざというときにあわてることがないように、避難に備えた行動を一人ひとりがあらかじめ決めておくもの。
- ※2…Global Positioning Systemの略称。人工衛星を利用して自身の現在位置を正確に割り出すシステム。
- ※3…乗り合いバスやタクシー等の従来の公共交通機関を利用できない移動制約者に個別の輸送を提供する交通サービス。
- ※4…社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能である魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取り組み。
- ※5…我が子の「非行」に悩む親の支援と本人の立ち直りを支えていく活動を中心に、子どもの健全育成をすすめる学習支援等を日常的に行っている特定非営利法人。
- ※6…自治体運営を体験するシミュレーションゲーム(ゲーム式ワークショップ)。
- ※7…企業の本社・本拠地から離れた場所に設置されたオフィスのこと。